

## 財源活用事業の進捗と活動指標の状況

整理 番号	事業名	活動指標	指標	進捗と今後の予定
			実績	
1-①	地域学習会(出前講座)	説明会等の開催回数	12回 11回	希望のあった地域等で出前講座を実施するとともに、東部交流会館(2回)及び南加茂台公民館(4回)において公民館講座(後期)を開講しました。 引き続き、希望に応じて出前講座を実施します。
1-②	市民提案型ごみ減量活動等補助金	市民提案型ごみ減量活動等補助金の交付件数	6件 7件	4月24日から募集を開始し、7件の交付を決定しました。 引き続き、地域型ふれあい収集の募集を受付けます。
1-③	不法投棄対策	不法投棄等監視カメラの貸出件数	6件 2件	太陽光発電駆動式監視カメラシステム2基を調達し、9月2日から地域への貸与制度を開始しました。現在、2地域へ貸与中です。 引き続き、貸与申請を受け付けます。
1-④	情報発信事業	「もったいない便り」の市広報紙への折込回数	6回 4回	ごみの減量や再資源化に関する情報を発信する情報紙「もったいない便り」の発行を6月から開始しました。 引き続き、偶数月の市広報紙へ折り込んで発行します。
1-⑤	市民活動の表彰制度	表彰事例の数	3件 0件	10月1日から11月20日まで「わが家のごみ減量アイデア大賞」として、家庭で取り組める身近な減量アイデアを募集しました。 審議会の選考結果を踏まえ、対象者を表彰します。
2-①	リサイクル活動の拠点の確保	環境団体の情報発信 (市広報紙への掲載回数)	12回 8回	市民参加型のリサイクル活動を市内7会場で11回開催し、約550名にご参加いただきました。 引き続き、市広報紙により関連情報を発信します。
2-②	古紙集団回収事業の充実	雑がみの集団回収量	575.5t 注1	8月にオリジナル雑がみ袋を作成し、転入者へ配布しています。11月19日には、古紙集団回収団体を対象に、雑がみ説明会を開催し、オリジナル雑がみ袋を配布しました。 引き続き、転入者等への啓発を実施します。
2-③	生ごみ処理容器の普及促進	ダンボールコンポスト講習会の参加者数	300人 227人	ダンボールコンポスト講習会を15回開催しました。新たな取り組みとして、夏休みを利用したチャレンジ講座も開催しました。 引き続き、同講習会及びバイオ式生ごみ処理容器貸出事業を実施します。
2-④	使用済み食用油再資源化事業	使用済み食用油回収拠点の箇所数	3箇所 3箇所	8月1日から市内3か所(市役所本庁舎及び両支所)に回収拠点を設置し、これまでに514kgを回収しました。 引き続き、回収します。
2-⑤	ごみ分別アプリ配信事業	ごみ分別アプリの利用者数	3,000人 317人	12月1日からAndroid版アプリの配信を開始しました。iOS/iPadOS版については、12月10日から配信を開始しました。今後、商業施設等でアプリの啓発及び操作説明会を開催します。
3-①	生ごみの再資源化事業	給食堆肥の市内消費量	5.0t 7.8t	学校等において学校給食の調理残渣を含む堆肥を利用いただき、あわせて資源循環について説明しました。(棚倉小学校、木津高等学校等) 引き続き、給食堆肥の利用を推進します。
3-②	レジ袋削減の促進	小売店等へ削減を働きかけた回数	1回 0回	今後、国が制度化する有料義務化に協力を求めるとともに、必要な支援策等について調査します。
3-③	学校等における環境学習への支援	環境学習の実施校数(累積)	3校 7校	学校の環境学習へ職員を派遣し、ごみ処理や資源循環について説明しました。 引き続き、希望校において実施します。

※ 各事業の進捗は、令和2年12月6日時点の実績で記載しています。